

重点戦略 8 未来を拓く心豊かな人づくり

〔ねらい〕

国際化や科学技術の進展、産業や経済構造の高度化、価値観やライフスタイルの多様化など、社会は急速に変化しており、子どもたちには、本県の文化や伝統を大切にしながら、この新しい時代をたくましく生きる力を身に付けることが期待されています。

このため、一人ひとりの個性や適性に応じたきめ細かな教育を推し進め、基礎的・基本的な知識・技能はもとより、自ら学び・課題を見付け・解決できる力を身に付けた、未来を切り拓こうとする気概あふれる積極果敢な人づくりを目指します。

また、生涯を通じた学びやスポーツにより、心身ともに健やかで、心豊かな人づくりを目指します。

1 個性を伸ばす学校づくりを推進し、自ら学び・考え・行動し、社会人として自立する力を育成します。

- (1) 確かな学力を育み、一人ひとりの個性と創造性を伸ばす教育を推進します。
- (2) 豊かな人間性を育み、子どもたちの規範意識や公共心を育成します。
- (3) 健康や体力の増進に努め、たくましい人間づくりを目指します。
- (4) 子どもたちが安全で快適に学び、安心して過ごすことができる学校施設の整備を進めます。
- (5) 県立学校の適正配置を推進します。

➡ P.124

施策の概要

2 建学の精神を尊重し、私学を振興します。

私立学校の自主性を尊重し、引き続きその教育環境の維持・向上を図ります。

➡ P.128

施策の概要

3 青少年の健全育成を進めます。

人間関係の希薄化や家庭・地域社会の教育力の低下、有害情報の氾濫など少年を取り巻く環境は年々悪化しており、警察、学校、家庭、地域社会が連携し、問題の未然の防止と的確・迅速な対応を強化します。

➡ P.129

施策の概要

4 全ての世代を通じての生涯学習を推進します。

- (1) いつでもだれでも生涯学習に参加できるように環境を整備します。
- (2) 県立図書館については、県内公立図書館の中核施設として、蓄積された情報を最先端技術で提供するなどの次代に対応した機能の強化にハード・ソフトの両面から取り組み、県民の文化創造や生涯学習の支援に努めます。

➡ P.130

施策の概要

5 生涯スポーツの振興と競技力の向上を進めます。

ライフステージに応じたスポーツ活動の充実を目指して、県民の誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しむことにより、活力あふれた人づくりに取り組みます。

➡ P.132



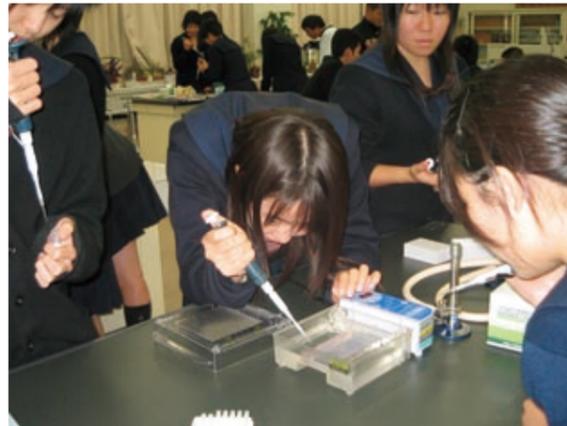


# 1 個性を伸ばす学校づくりを推進し、自ら学び・考え・行動し、社会人として自立する力を育成します。

## (1) 確かな学力を育み、一人ひとりの個性と創造性を伸ばす教育を推進します。

### ① 基礎学力を向上し、自ら学ぼうとする意欲を育むとともに、個に応じた指導を一層充実します。

- 学び方や調べ方についてのアドバイス等を適切に行い、家庭における学習習慣の確立を図ります。
- 習熟度別指導や発展的な学習・補足的な学習などを取り入れた指導など、個に応じた指導を一層充実します。
- 「数学探究」、「コスモサイエンス」など、生徒の多様な学習ニーズに応える学校独自の教科、科目の開設に取り組みます。



発展的な学習(DNA分析実験)

### ② ふるさと教育を推進し、郷土を愛し、誇りに思う意識を育みます。

- 小中学校では、ふるさとの自然や歴史等の体験学習を推進します。
- 高等学校では、総合的な学習の時間をはじめとする授業の中で、石川版教科書「ふるさと石川」を用い、石川の発展に深く関わろうとする意欲を高め、能力を育成します。



高校生の保育体験

### ③ キャリア教育(勤労観・職業観の育成)を推進します。

- 児童生徒の発達段階に応じた学習と体験活動を通じて、社会性やコミュニケーション能力を育み将来の社会的自立を促します。
- 中学校2年生を対象とした「わく・ワーク(work)体験」(職場体験)や全ての高等学校でのインターンシップ(就業体験)を通して、勤労観・職業観の育成、自己の能力・適性の理解を促進します。



わく・ワーク(work)体験

### ④ 時代や社会のニーズ、生徒の個性や進路希望等を踏まえて、特色ある学校づくりを推進します。

- 魅力ある専門学科への改編や、普通科における特色あるコースの充実を図ります。
- 技術革新に対応できる実験実習設備等を整備します。

### ⑤ 評価を活かした学校づくりを推進します。

- 学校に自己評価や外部評価を取り入れ、継続的な検証と改善により信頼される学校づくりを進めます。

### ⑥ 教員に求められる資質能力の向上と学校組織の活性化のため、研修体系の不断の見直しに努めます。

- 教員養成機関である大学と連携し、養成・育成プログラムの充実に努めます。
- 人事考課や学校評価の結果を活用した研修企画に努めます。
- 教員研修の中核的機関である教育センターの指導法に関する相談・情報提供などの機能強化を進めます。



金沢大学連携ゼミナール研修 高校理科(物理)ゼミ

### ⑦ 障害のある子どもたちの教育を充実します。

- 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握した適切な指導・支援や、高等部での職業教育を行う学科設置など、特別支援学校の教育及び機能を充実します。
- LD<sup>\*1</sup>、ADHD<sup>\*2</sup>、高機能自閉症<sup>\*3</sup>等の児童生徒に対する巡回相談などの支援や、学校全体の教員の理解や指導者の専門性向上の促進など、小中高等学校等における特別支援教育を充実します。



就労をめざしての職場実習(特別支援学校高等部)

\*1 LD(学習障害)：知的発達の遅れはないが、読む書く等の学習能力の習得に著しい困難を示すもの  
 \*2 ADHD(注意欠陥/多動性障害)：年齢及び発達に不釣り合いな注意力、又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害  
 \*3 高機能自閉症：知的発達の遅れがない自閉症



## (2) 豊かな人間性を育み、子どもたちの規範意識や公共心を育成します。

### ① 学校・家庭・地域社会が連携し、子どもたちの豊かな心を育みます。

- 「いしかわ教育の日(11月1日)」を中心に各学校での特色ある取組みなどを展開します。
- 地域での体験的な学習を取り入れるなど、実践的な道德教育を推進します。
- 地域住民の一員としての自覚を育てるため、中高生によるあいさつ運動などを拡げていきます。



あいさつ運動

### ② 体験活動を通じて、生きる力を育みます。

- 他人への思いやりや感動する心など豊かな人間性を育むため、自然体験活動を充実します。



自然体験活動

### ③ いじめ・不登校対策を充実します。

- 学校にスクールカウンセラー等を配置し、いじめ・不登校の未然防止と早期発見に努めます。
- 訪問指導を充実し、ひきこもり傾向の児童生徒や保護者を支援します。

## (3) 健康や体力の増進に努め、たくましい人間づくりを目指します。

### ① 体力向上を図り、たくましい心身を育成します。

- すべての学校で体力テストを実施し、調査結果を分析・考察するとともに、データを活用した体力向上の取組みを推進します。

### ② 学校独自の特色ある運動部活動の推進に取り組めます。

- 運動部活動を通して、協調性や責任感、自主性の育成を図っていきます。
- 指導者の資質向上を図るとともに、地域指導者の積極的な活用を推進します。

## (4) 子どもたちが安全で快適に学び、安心して過ごすことができる学校施設の整備を進めます。

### ① 老朽化した校舎等の改築などの整備を計画的に進めます。

- 老朽化した校舎等の改築を計画的に進めつつ、社会状況の変化や多様な学習活動に適切に対応した教育環境の向上を図っていきます。

### ② 学校施設の耐震化を推進します。

- 児童・生徒が学習や生活する場としての安全性を確保すること及び災害時における地域住民の避難場所としての機能を果たすため、学校施設の耐震化を推進します。



校舎等の改築(小松高等学校)

### ③ 地域社会との連携、自然との共生、ゆとり空間の創出などに配慮した、潤いのある教育環境の整備を進めます。

- 学校がもつ教育機能や施設を地域へ開放し、学校施設が地域のコミュニティの場としての役割を担うような整備に努めます。
- 自然環境に配慮するため、雨水利用や太陽光発電設備を設置するとともに、談話室等を設置することにより、学習環境にも配慮した学校施設の整備を実施します。



ゆとり空間創出(談話室)

## (5) 県立学校の適正配置を推進します。

### ① 高等学校の再編整備を進め、教育水準の維持向上と一層の活性化を図ります。

- 時代や社会のニーズを踏まえて、生徒が切磋琢磨できる活力ある教育環境を維持するために、高等学校の適正配置を進めます。

### ② 特別支援学校の配置状況を見直し、児童生徒や保護者のニーズに基づいた適正配置を実施します。

- 複数の障害に対応できる総合的な機能をもつ特別支援学校の設置を進めます。

### 県民へのメッセージ

◎子どもたちを心身ともに健やかに育てるためには、「社会全体で子どもたちを育てる」という意識が、学校にも家庭や地域社会にも必要であり、これらの三者がそれぞれの役割を果たしながら緊密に連携することにより、子どもたちへの教育効果が一層高まることが期待されています。そのため、地域全体の教育力の向上をねらいとした学校とPTAや関係団体との一層の連携や、高度で特色のある教育活動や職業観を身につけるための大学や企業・経済界との連携などが必要となっています。

## 2 建学の精神を尊重し、私学を振興します。

- ① 私立学校の自主性を尊重し、引き続きその教育環境の維持・向上を図ります。
  - ② 職業に必要な能力の育成や教養の向上を図る役割を担う専修・各種学校の振興を図ります。
- 継続して私立学校経常費への助成を始めとして各種施策を実施します。

石川県においては、平成18年5月1日現在、全体の23.5%にあたる7,962人の生徒が私立高等学校で学んでいます。

### 私立学校に助成する目的

教育条件の維持と向上

保護者の負担軽減

私立学校の経営の健全化



私立学校の健全な発達へ

## 3 青少年の健全育成を進めます。

- ① 非行防止に関わる啓発活動や少年の規範意識を高める取組みを充実します。
  - ② 環境浄化活動を推進します。
  - ③ 非行の初期段階での防止に重点を置いた取組みを強化します。
  - ④ 無職少年への助言・指導等による支援を推進します。
- 非行防止教室等を開催し、児童生徒や保護者の意識を高め、非行の未然防止を呼びかけます。
- 地域社会と一体となり、公園の清掃、落書き消し等、社会奉仕体験活動やスポーツ活動等を推進します。
- 学校での生徒指導サポーター等の配置や全市町での少年サポートチームなどを通じて、地域において非行防止を多方面から支援します。
- 少年非行の多くを占める万引きや自転車盗などの防止を徹底します。
- 早期発見、早期措置を目的とした少年警察ボランティアによる立ち直り支援の充実や警察・自治体・学校等の連携による街頭補導活動を強化します。
- 無職少年に対し、就労、就学の相談や非行防止活動を実施するため、青少年の関係機関・団体の連携による支援体制づくりを推進します。
- 青少年に有害な情報を含む図書、ビデオ、インターネット情報等を浄化する活動を推進します。



少年非行防止教室(ピュアキッズスクール)開催状況

### 県民へのメッセージ

◎私立学校は、公教育の一翼を担っており、今後とも、教育内容をさらに充実させるとともに、学校経営の健全性にも十分配慮いただき、より一層発展されることを期待します。

### 県民へのメッセージ

◎少年非行を未然に防止し、その健全育成を図っていくためには、警察・学校、関係機関等の活動のほか、地域社会と一体となった取組みを継続・発展させていくことが重要であり、地域住民の皆さんの積極的な参加を期待します。



## 4 全ての世代を通じての生涯学習を推進します。

### (1) いつでもだれでも生涯学習に参加できるように環境を整備します。

- ① 多様化・高度化するニーズに対応した学習機会を提供します。
  - 県立学校の人的・物的資産を活用し、地域住民の学習ニーズに応えるため、「県立学校開放講座」において、広く学習機会の提供に努めます。
  - 学習の成果が評価・活用されるよう、発表の場の提供や交流の機会の充実に努めます。
- 県民大学校において、文化探求などニーズの高い講座を開設します。



県民大学校講座風景

### (2) 県立図書館の機能強化を進めていきます。

- ① 県内公立図書館の中核的施設として、蓄積された情報を最先端技術で提供するなどの次代に対応した機能の強化に、ハード・ソフトの両面から取り組み、県民の文化創造や生涯学習の支援に努めます。

#### 次代に対応した県立図書館のイメージ

稀少図書資料の収集、県内図書館ネットワークの推進など業務の高度化を図る。伝統に裏打ちされた一級の文化と歴史の資料をIT技術を駆使し、全国に向け発信する。県立美術館、歴史博物館などと連携し、情報等の共有化を図る。

### ② 生涯学習に関わる情報提供を充実し、一層興味をもってもらえるよう努めます。

- 生涯学習情報の共有化を図るため、市町のネットワークの形成を促進します。
- インターネットによるイベント・講座・講師案内などの情報提供を充実します。



いしかわ子ども自然学校

### ③ 青少年教育施設の自然体験プログラム等を充実します。

- 青年の家・少年自然の家の充実に努め、環境教育等の視点を取り入れた自然体験プログラムを展開します。
- 自然史資料館において、設備の充実や、企画展示、教育普及プログラムの拡充に努めます。



自然史講演会(自然史資料館)

### ④ 新しい「石川県史」の編さんについての検討を行います。

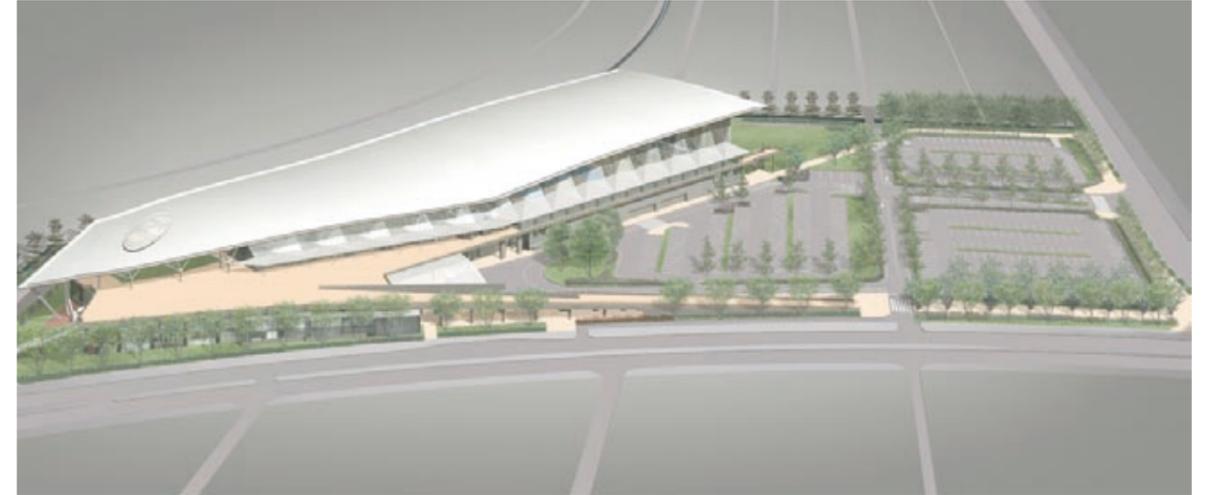
#### 県民へのメッセージ

◎生涯学習は、全ての人がいつでも、どこでも自由に学ぶことができ、その成果が適切に評価されることが必要であり、一人でも多くの県民が「学び」を通じて心の豊かさを実感し、人々が互いに交流し、ふるさとに愛着と誇りを持てるよう、県民と行政が一体になって生涯学習社会を構築していくことを期待します。



## 5 生涯スポーツの振興と競技力の向上を進めます。

- ① 県民それぞれのニーズに応じたスポーツライフが実践できる環境づくりを進めます。
  - 地域や世代間の交流などを通じた地域スポーツの活性化や、地域住民が主体的に運営する、地域に応じたスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。
  - スポーツクラブの創設や運営に関する専門的知識を持つ指導者の育成と資質向上を図ります。
  - 県民が必要なスポーツ情報を入手できるよう、ホームページや広報誌による情報提供を充実するとともに、市町や関係団体と連携し、様々なスポーツ情報のネットワーク化を進めます。
- ② 競技スポーツを振興します。
  - 高いレベルの競技者の育成をめざし、ジュニア期からの発達段階に応じた一貫指導体制や、科学的トレーニングの積極的な活用など、指導体制を充実します。
- ③ 総合スポーツセンター(仮称)等を活用した国際的・全国的・全県的な各種スポーツイベントを誘致、開催します。
- ④ スポーツ施設の整備・充実を進めます。



総合スポーツセンター(仮称)外観



県民スポーツ・レクリエーション祭



総合スポーツセンター(仮称)メインアリーナ

### 県民へのメッセージ

◎本県においては、児童生徒の体力・運動能力は低下傾向にあります。また、健康で年齢より若い体力を維持することが予防医学や介護予防の観点からも重要です。県民のだれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しむことを期待しています。